

国保保険証未交付率 7.3% は、5年連続で県下ワースト1 尼崎市は、国保制度の早急な改善を！

7月15日付兵庫保険医新聞で、2022年国保保険証に関する県内自治体調査結果を報道したが、尼崎市の回答について詳しく紹介する。

市の交付対象世帯総数 61,388 世帯のうち、保険証未交付世帯は 4,451 世帯、未交付率は 7.3% で、5年連続で県内ワースト1である。県全体の未交付率 1.7% や阪神間の他の自治体と比較しても際立って高い(図1)。

資格証明書の発行は 478 世帯・0.8% (県平均 1.0%)、短期保険証は 4,426 世帯・7.2% (同 4.5%) で発行されている。

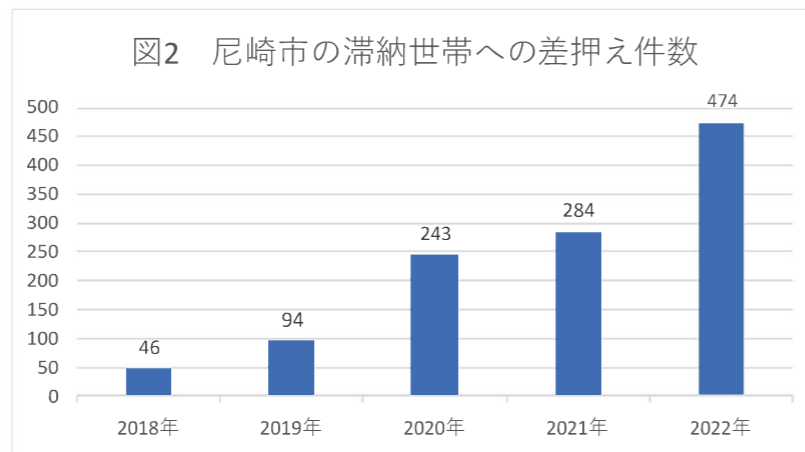
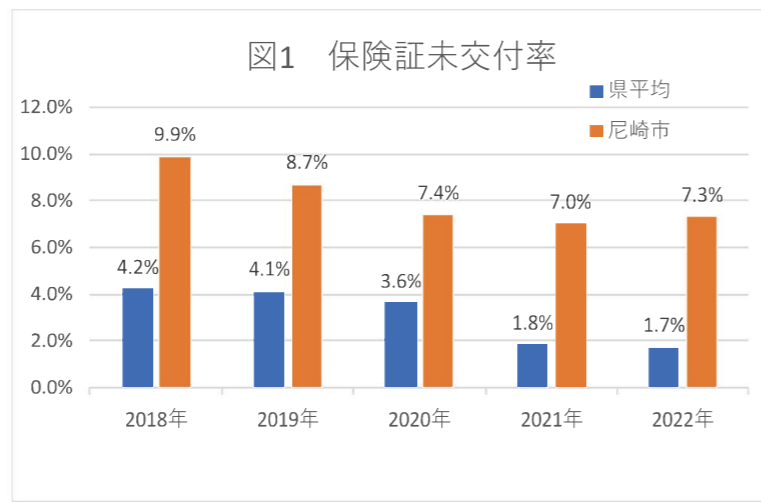
市町が独自に行う保険料減額制度では、尼崎市は 16,311 世帯・26.6% (県平均 13.1%) で、4件に1件が適用になっている。しかしそれでも保険料が高すぎて 11,360 世帯が保険料を滞納している。

滞納世帯への差し押さえは、474件で昨年の1.7倍と急増している(図2)。尼崎市はホームページで「滞納処分を強化しています」として、「直近2年の差し押さえによる差し押さえ金額は大幅に増加しています」とグラフ付きでPRしている。

市町は独自で法定外繰入れを行って保険料を引き下げているが、尼崎市は一人当たり 1,456 円にとどまり、41市町のうち30番目の低さである。

国保は、憲法25条の生存権によって定められた社会保障制度の大切な柱であるが、尼崎市民が制度を十分に享受できているとは言い難い状況である。国民皆保険制度に基づいて、国による国庫負担大幅増などと同時に、市の一般会計からの繰り入れを大幅に増やすなど尼崎市独自の対策が必要だ。

昨年11月に当選した松本眞市長は、「何歳になっても、誰もが健康で、自分らしく生きがいをもって暮らせる仕組みづくりを進めます」と所信表明をしている。コロナ禍に加えて、物価高騰で市民の暮らしは苦しくなっている。市長の政策の実現のためには、国保制度を早急に改善することが求められる。



兵庫県保険医協会 尼崎支部ニュース

434号

2023年8月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

第52回支部総会を開催

脳卒中!! どう防ぐ? どう治す?



総会議事には6人が参加(写真左上)
脳卒中発症のサインを参加者で確認(写真中央)
市民にもわかり易く丁寧に解説する
津田健吉先生(写真右上)



尼崎支部は7月29日、尼崎市中小企業センターで、第52回支部総会を開催。議事では、2022年度活動報告と2023年度活動方針案、支部役員・評議員改選案を承認した(活動方針案は2面に、新支部役員体制は3面に掲載)。

総会には、尼崎市議会の日本共産党議員団・青雲の会・みどりの未来からメッセージが寄せられた。市民公開講演会では「脳卒中!! どう防ぐ? どう治す?」をテーマにつだ内科・脳神経内科院長の津田健吉先生が講演し、会員、訪問看護職員、市民、眞田泰秀市会議員(公明党)、迫田敬一市議会議員(みどりの未来)の20人が参加した。

脳リハビリ専門医である津田先生は、「年間29万人が脳卒中を発症し、その半分以上が死亡や介護が必要な状態になる。脳卒中にならないよう高血圧、糖尿病、脂質異常症(高脂血症)にならないよう食事療法や運動療法による予防が大事。早期発見のためにサイン(顔、腕、

(2面につづく)

(1面のつづき)

言葉、時間の異常)が見られたら1秒でも早く救急車を呼ぶことが重要である。早期の治療が大事で、リハビリテーションで改善する可能性が十分にある」と解説した。

参加者から、「塩分を摂り過ぎないように気を付けているが、この猛暑日が続く夏場での塩分摂取はどのように気を付ければよいのか」などの質問が出された。



参加者に署名の協力を呼びかける綿谷茂樹支部長



司会を務めた長谷川吉昭副支部長

【参加者アンケートに寄せられた感想】

- 予防から、治療、リハビリまで幅広くご講義いただき、わかりやすく勉強になりました。
- 生活習慣病の予防は危険なサインで早期に受診する重要性など、とても理解しやすく心温まる講演を受講できました。感謝いたします。ありがとうございました。
- 訪問する際に利用者さんにも教えられるようにもう一度復習しておきます。
- 脳卒中にならないためには、自分でできるだけ早期発見し、生活習慣病にならないよう予防しなくてはならない。家族にも注意深く早期発見できるようにしたい。塩分も十分注意量がとても少なく、今まで以上に気にして料理・食事摂取しようと思いました。

兵庫県保険医協会尼崎支部 2023 年度活動方針

- 1、経営対策など新規開業医を対象とした懇談会などの開催で、支部幹事会への新規開業医の参加を図るとともに、勤務医会員の拡大にも力を入れ支部活動への参加を促し、幹事会を一層活性化していく。
- 2、地域医療・介護を支える現場スタッフの力量向上を目指して、「医療と福祉を考える会」を開催する。
- 3、在宅診療や介護保険に関する研究会、保険請求事務講習会などを企画する。
- 4、医師、歯科医師をはじめ、職員も参加対象とした医科歯科連携に役立つ研究会を企画する。
- 5、住民の要望に基づき復興住宅での健康教室や健康と医療について語り合う会を開催する。
- 6、会員や職員対象の医療安全対策研修会や接遇研修会などを企画する。
- 7、医療や福祉・介護保険等の改善、充実を求める尼崎社保協や民主市政の会など支部加盟団体の活動に積極的に参加する。
- 8、「アスベスト被害からいのちと健康を守る尼崎の会」に参加し、被害者救済と企業・国の責任追及に取り組む。
- 9、会員間の交流を深める文化行事を企画する。
- 10、支部ニュースの毎月発行に努める。
- 11、幹事会は、より多くの幹事が出席しやすいように工夫して開催する。

兵庫県保険医協会尼崎支部役員

(敬称略・五十音順) 23～24 年度

- 【支部長】 綿谷 茂樹
- 【副支部長】 西原 弘道(筆頭) 長谷川吉昭
- 【支部幹事】 朝田 真司 阿部 勝也 大澤 芳清(新) 大前 隆仁(新)
木村 祐子 小泉 民雄 高 光重 合志 明彦
鈴木 克司 高原 周治 畠中 輝昭 細見 基信
堀尾 俊治 前田 重人 増田 勉 増田 理恵
町塚 博文 松田 哲一 森川 高司 山内 道士
山下 秀明

兵庫県保険医協会役員(敬称略・五十音順) 23～24 年度

- 【理事】 大澤 芳清 木村 祐子 小泉 民雄 西原 弘道
綿谷 茂樹
- 【評議員】 鈴木 克司(新) 高原 周治(新) 長谷川吉昭
畠中 輝昭 増田 理恵 森川 高司 山内 道士
- (予備) 高 光重
- (歯科) 阿部 勝也 大野 良子 木原美智男 富澤 洪基

< 尼崎社会保障推進協議会 2023 年定期総会講演会のご案内 >

日時: 9月30日(土)
場所: 尼崎市中小企業センター 401 会議室
記念講演: 14:40～16:00

「保険証廃止・マイナ保険証義務化の問題点」

講師: 兵庫県保険医協会理事長 西山 裕康 先生

どなたでもご参加いただけます。先生だけでなく、スタッフ、患者のみなさまのご参加もお待ちしております。

お問い合わせは、担当事務局 沖野・石本 Tel 078-393-1805 まで